

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2028年9月15日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◇SUZ0337920230919◇

# NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)  
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)  
(愛称：選択の達人)

## 運用報告書(全体版)

隔月分配型 (第26期(決算日 2023年5月17日)  
第27期(決算日 2023年7月18日)  
第28期(決算日 2023年9月19日))  
資産成長型 第10期(決算日 2023年9月19日)  
(作成対象期間 2023年3月18日～2023年9月19日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先（コールセンター）  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>  
<3380>  
<3381>  
<3382>

## 為替ヘッジあり／隔月分配型

## 最近15期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資利益組入	信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金配込	期騰落率				
	円	円	%	%	%	百万円	
14期末 (2021年5月17日)	10,613	30	1.3	—	99.2	1,294	
15期末 (2021年7月19日)	10,763	30	1.7	—	98.7	1,270	
16期末 (2021年9月17日)	10,848	30	1.1	—	99.1	1,310	
17期末 (2021年11月17日)	10,713	30	△ 1.0	—	99.4	1,221	
18期末 (2022年1月17日)	10,664	30	△ 0.2	—	99.2	1,223	
19期末 (2022年3月17日)	9,977	30	△ 6.2	—	99.4	1,093	
20期末 (2022年5月17日)	9,422	30	△ 5.3	—	99.2	1,038	
21期末 (2022年7月19日)	9,076	30	△ 3.4	—	99.4	989	
22期末 (2022年9月20日)	9,043	30	△ 0.0	—	99.5	985	
23期末 (2022年11月17日)	8,920	30	△ 1.0	—	99.0	929	
24期末 (2023年1月17日)	9,093	30	2.3	—	99.4	943	
25期末 (2023年3月17日)	8,658	30	△ 4.5	—	99.0	877	
26期末 (2023年5月17日)	8,616	30	△ 0.1	—	99.2	865	
27期末 (2023年7月18日)	8,726	30	1.6	—	99.0	863	
28期末 (2023年9月19日)	8,543	30	△ 1.8	—	99.5	845	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

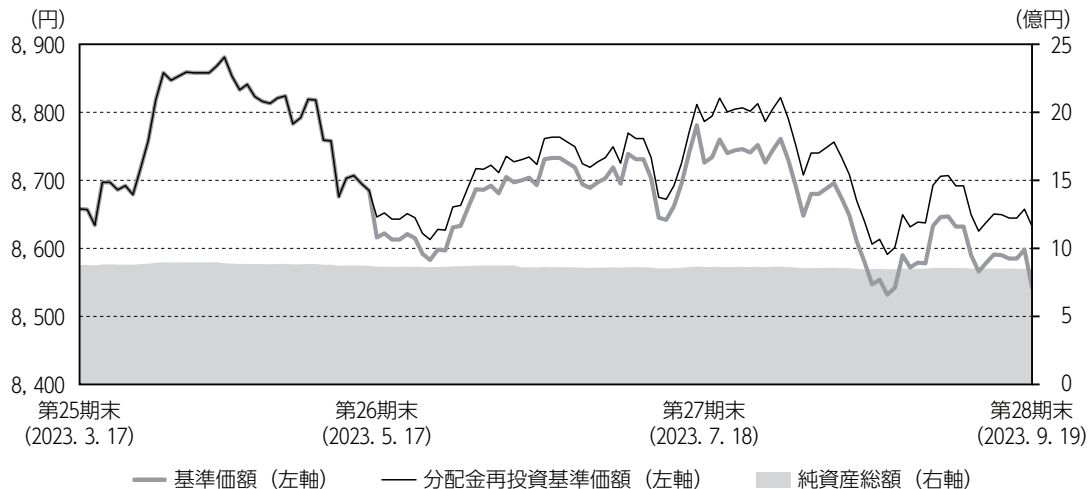
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第26期首：8,658円

第28期末：8,543円（既払分配金90円）

騰落率：△0.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有しているハイイールド債券や株式などの上昇はプラス要因となりま

したが、米国金融当局が大幅な利上げを実施したことによる為替ヘッジコストの上昇が重しとなり、基準価額は小幅に下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブルユー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率		
第26期	(期 首) 2023年 3月17日	円	%	%	%
	3 月末	8,658	—	—	99.0
	4 月末	8,758	1.2	—	99.0
	(期 末) 2023年 5月17日	8,792	1.5	—	98.9
第27期	(期 末) 2023年 5月17日	8,646	△ 0.1	—	99.2
	(期 首) 2023年 5月17日	8,616	—	—	99.2
	5 月末	8,631	0.2	—	99.2
	6 月末	8,695	0.9	—	99.2
第28期	(期 末) 2023年 7月18日	8,756	1.6	—	99.0
	(期 首) 2023年 7月18日	8,726	—	—	99.0
	7 月末	8,745	0.2	—	99.2
	8 月末	8,646	△ 0.9	—	99.4
第28期	(期 末) 2023年 9月19日	8,573	△ 1.8	—	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 3. 18 ~ 2023. 9. 19）

## ■海外金融市況

海外金融市場では、国債金利が上昇（債券価格は下落）したものの、投資適格社債は横ばい、ハイイールド債券や株式は堅調に推移しました。

海外株式市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやFRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感され、月末にかけて上昇しました。当作成期末にかけては、米国の利上げ停止への期待が高まった一方、全米自動車労働組合のストライキ入りなど強弱材料が入り混じり、一進一退で推移しました。

海外債券市場は、当作成期首より、強弱入り混じる経済指標の結果などから方向感のない展開となりましたが、2023年5月に入ると、経済指標の上振れや過度な信用不安の後退などを背景に、早期の金融引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇しました。6月は、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。7月も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、金利は上昇しました。当作成期末にかけては、底堅い経済指標を背景に利上げの継続スタンスが意識されたことに加え、財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社による米国国債の格下げが嫌気され、長期金利主導で上昇しました。

## ■前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 3. 18 ~ 2023. 9. 19)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第26期	第27期	第28期
	2023年3月18日 ～2023年5月17日	2023年5月18日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年9月19日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率 (%)	0.35	0.34	0.35
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	996	1,014	1,020

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第26期	第27期	第28期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 36.21円	✓ 47.15円	✓ 35.99円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	478.00	480.65	485.49
(d) 分配準備積立金	512.55	516.21	528.65
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,026.77	1,044.02	1,050.14
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	996.77	1,014.02	1,020.14

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。



## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第28期 (2023. 3. 18～2023. 9. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.572%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,700円です。
(投 信 会 社)	(15)	(0.167)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.391)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	50	0.577	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

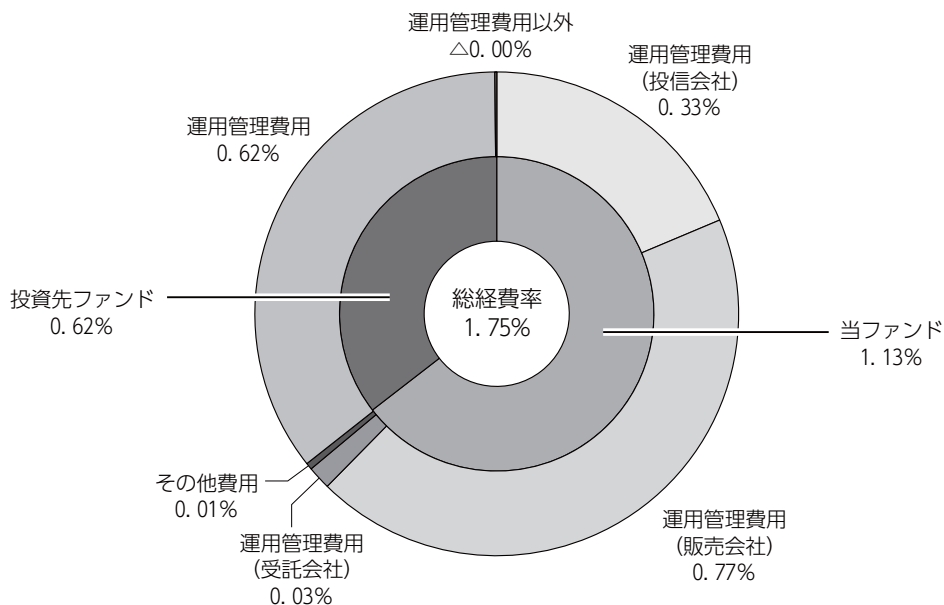
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

## ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2023年3月18日から2023年9月19日まで)

決算期	第 26 期 ～ 第 28 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	281.950099	22,813	453.310547	37,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2023年3月18日から2023年9月19日まで)

第 26 期 ～ 第 28 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	87.079301	7,000	80	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	453.310547	37,000	81

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 28 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	10,541.846434	841,302	99.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	第 25 期 末	第 28 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	180	183

(注) 単位未満は切捨て。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

## ■投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項 目	第 28 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 841,302	% 98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	183	0.0
コール・ローン等、その他	10,556	1.3
投資信託財産総額	852,043	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月17日)、(2023年7月18日)、(2023年9月19日) 現在

項 目	第26期末	第27期末	第28期末
<b>(A) 資産</b>	<b>870,472,868円</b>	<b>867,786,869円</b>	<b>852,043,143円</b>
コール・ローン等	11,121,116	12,813,309	10,556,909
投資信託受益証券 (評価額)	859,168,078	854,789,904	841,302,596
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	183,674	183,656	183,638
<b>(B) 負債</b>	<b>4,689,400</b>	<b>4,640,896</b>	<b>6,251,941</b>
未払収益分配金	3,014,447	2,967,435	2,970,242
未払解約金	—	—	1,585,264
未払信託報酬	1,662,815	1,649,284	1,660,143
その他未払費用	12,138	24,177	36,292
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>865,783,468</b>	<b>863,145,973</b>	<b>845,791,202</b>
元本	1,004,815,955	989,145,312	990,080,927
次期繰越損益金	△ 139,032,487	△ 125,999,339	△ 144,289,725
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,004,815,955口</b>	<b>989,145,312口</b>	<b>990,080,927口</b>
1万口当り基準価額 (C / D)	<b>8,616円</b>	<b>8,726円</b>	<b>8,543円</b>

\* 当作成期首における元本額は1,013,499,510円、当作成期間（第26期～第28期）中における追加設定元本額は16,241,671円、同解約元本額は39,660,254円です。

\* 第28期末の計算口数当りの純資産額は8,543円です。

\* 第28期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は144,289,725円です。

## ■損益の状況

第26期 自2023年3月18日 至2023年5月17日 第27期 自2023年5月18日 至2023年7月18日 第28期 自2023年7月19日 至2023年9月19日

項 目	第26期	第27期	第28期
(A) 配当等収益	5,314,188円	5,226,560円	5,235,825円
受取配当金	5,314,656	5,227,267	5,236,553
受取利息	—	4	—
支払利息	△ 468	△ 711	△ 728
(B) 有価証券売買損益	△ 4,821,515	△ 10,229,015	△ 18,666,809
売買益	216,579	10,389,000	68,582
売買損	△ 5,038,094	△ 159,985	△ 18,735,391
(C) 信託報酬等	△ 1,674,953	△ 1,661,323	△ 1,672,258
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,182,280	△ 13,794,252	△ 15,103,242
(E) 前期繰越損益金	△ 166,290,602	△ 167,003,076	△ 154,940,925
(F) 追加信託差損益金	31,454,842	30,176,920	28,724,684
(配当等相当額)	( 48,031,164)	( 47,543,471)	( 48,067,785)
(売買損益相当額)	(△ 16,576,322)	(△ 17,366,551)	(△ 19,343,101)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 136,018,040	△ 123,031,904	△ 141,319,483
(H) 収益分配金	△ 3,014,447	△ 2,967,435	△ 2,970,242
次期繰越損益金 (G + H)	△ 139,032,487	△ 125,999,339	△ 144,289,725
追加信託差損益金	31,454,842	30,176,920	28,724,684
(配当等相当額)	( 48,031,164)	( 47,543,471)	( 48,067,785)
(売買損益相当額)	(△ 16,576,322)	(△ 17,366,551)	(△ 19,343,101)
分配準備積立金	52,126,743	52,758,683	52,934,682
繰越損益金	△ 222,614,072	△ 208,934,942	△ 225,949,091

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第26期	第27期	第28期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,639,231円	4,664,692円	3,563,555円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	48,031,164	47,543,471	48,067,785
(d) 分配準備積立金	51,501,959	51,061,426	52,341,369
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	103,172,354	103,269,589	103,972,709
(f) 分配金	3,014,447	2,967,435	2,970,242
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	100,157,907	100,302,154	101,002,467
(h) 受益権総口数	1,004,815,955□	989,145,312□	990,080,927□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1万口当り分配金（税込み）	第26期	第27期	第28期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジなし／隔月分配型

## 最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資利益組入信託比率	純資産額
	(分配落)	税金	込金	騰落			
	円		円		%	%	百万円
14期末 (2021年5月17日)	10,258		70		—	99.3	5,782
15期末 (2021年7月19日)	10,436		70		—	99.0	6,553
16期末 (2021年9月17日)	10,443		70		—	98.9	7,095
17期末 (2021年11月17日)	10,736		70		—	99.0	7,658
18期末 (2022年1月17日)	10,583		70	△	0.8	99.2	8,460
19期末 (2022年3月17日)	10,283		70	△	2.2	99.1	8,570
20期末 (2022年5月17日)	10,555		70		—	99.2	9,102
21期末 (2022年7月19日)	10,906		70		—	99.1	9,432
22期末 (2022年9月20日)	11,240		70		—	99.0	9,976
23期末 (2022年11月17日)	10,849		80	△	2.8	99.4	9,771
24期末 (2023年1月17日)	10,179		80	△	5.4	99.3	9,215
25期末 (2023年3月17日)	10,142		80		—	99.3	9,215
26期末 (2023年5月17日)	10,415		80		—	99.2	9,695
27期末 (2023年7月18日)	10,763		80		—	99.0	10,174
28期末 (2023年9月19日)	11,322		80		—	99.1	11,132

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

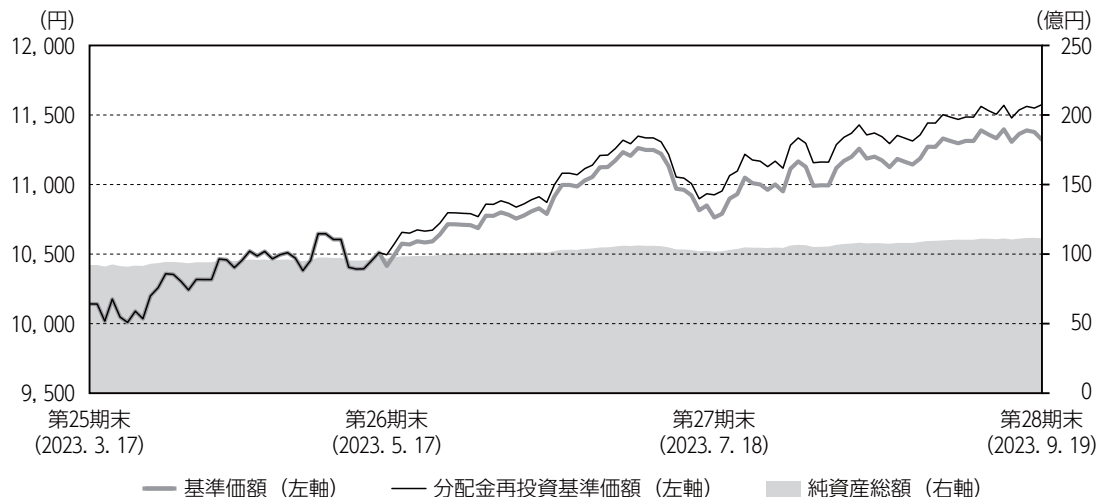
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第26期首：10,142円

第28期末：11,322円（既払分配金240円）

騰落率：14.1%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有しているハイイールド債券や株式などが上昇したことに加え、円安

米ドル高が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）



NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第26期	(期 首) 2023年 3月17日	10,142	—	—	99.3
	3 月末	10,258	1.1	—	99.3
	4 月末	10,454	3.1	—	99.1
	(期 末) 2023年 5月17日	10,495	3.5	—	99.2
第27期	(期 首) 2023年 5月17日	10,415	—	—	99.2
	5 月末	10,711	2.8	—	99.3
	6 月末	11,207	7.6	—	99.3
	(期 末) 2023年 7月18日	10,843	4.1	—	99.0
第28期	(期 首) 2023年 7月18日	10,763	—	—	99.0
	7 月末	10,951	1.7	—	99.2
	8 月末	11,313	5.1	—	98.7
	(期 末) 2023年 9月19日	11,402	5.9	—	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## ■ 海外金融市況

海外金融市場では、国債金利が上昇（債券価格は下落）したものの、投資適格社債は横ばい、ハイイールド債券や株式は堅調に推移しました。

海外株式市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやFRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感され、月末にかけて上昇しました。当作成期末にかけては、米国の利上げ停止への期待が高まった一方、全米自動車労働組合のストライキ入りなど強弱材料が入り混じり、一進一退で推移しました。

海外債券市場は、当作成期首より、強弱入り混じる経済指標の結果などから方向感のない展開となりましたが、2023年5月に入ると、経済指標の上振れや過度な信用不安の後退などを背景に、早期の金融引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇しました。6月は、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。7月も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、金利は上昇しました。当作成期末にかけては、底堅い経済指標を背景に利上げの継続スタンスが意識されたことに加え、財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社による米国国債の格下げが嫌気され、長期金利主導で上昇しました。

## ■ 為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、2023年4月末にかけては、次回のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落（円高）しまし

た。その後当作成期末にかけては、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識されたことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

（2023. 3. 18 ～ 2023. 9. 19）

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第26期	第27期	第28期
	2023年3月18日 ～2023年5月17日	2023年5月18日 ～2023年7月18日	2023年7月19日 ～2023年9月19日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>
対基準価額比率 (%)	0.76	0.74	0.70
当期の収益 (円)	80	80	80
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,714	1,736	1,821

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第26期	第27期	第28期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 100.28円	✓ 101.37円	✓ 102.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	61.84
(c) 収益調整金	867.36	890.56	932.17
(d) 分配準備積立金	826.54	824.50	805.68
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,794.19	1,816.44	1,901.82
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,714.19	1,736.44	1,821.82

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第26期～第28期 (2023. 3. 18～2023. 9. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0.573%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,807円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0.168)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(42)	(0.391)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	62	0.577	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

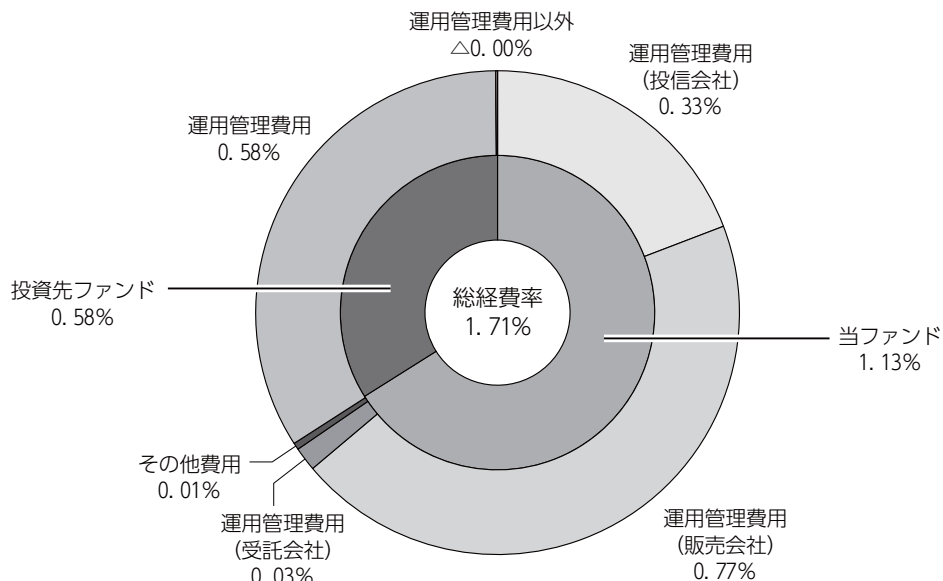
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



総経費率 ( ① + ② + ③ )	1.71%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。



## ■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2023年3月18日から2023年9月19日まで)

決算期	第 26 期 ～ 第 28 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	9,303.527993	933,699	1,368.141141	140,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄 投資信託受益証券

(2023年3月18日から2023年9月19日まで)

第 26 期 ～ 第 28 期							
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	6,250.254101	630,000	100	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	1,368.141141	140,000	102

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 28 期 末		
	□ 数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	105,855.51164	11,029,932	99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

### (2) 親投資信託残高

種 類	第 25 期 末	第 28 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	737	737	749

(注) 単位未満は切捨て。

# NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

## ■投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項 目	第 28 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	11,029,932	97.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	749	0.0
コール・ローン等、その他	249,297	2.2
投資信託財産総額	11,279,979	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年5月17日)、(2023年7月18日)、(2023年9月19日) 現在

項 目	第26期末	第27期末	第28期末
<b>(A) 資産</b>	<b>9,928,267,370円</b>	<b>10,269,971,515円</b>	<b>11,319,979,748円</b>
コール・ローン等	239,476,298	193,222,068	249,297,622
投資信託受益証券 (評価額)	9,618,041,400	10,075,999,849	11,029,932,601
ダイワ・マネー・マザーファンド (評価額)	749,672	749,598	749,525
未収入金	70,000,000	—	40,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>232,500,370</b>	<b>95,372,609</b>	<b>187,318,299</b>
未払金	140,000,000	—	80,000,000
未払収益分配金	74,475,220	75,627,356	78,664,342
未払解約金	98,178	—	7,329,664
未払信託報酬	17,796,782	19,472,610	20,898,764
その他未払費用	130,190	272,643	425,529
<b>(C) 純資産総額 (A - B)</b>	<b>9,695,767,000</b>	<b>10,174,598,906</b>	<b>11,132,661,449</b>
元本	9,309,402,559	9,453,419,577	9,833,042,785
次期繰越損益金	386,364,441	721,179,329	1,299,618,664
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>9,309,402,559口</b>	<b>9,453,419,577口</b>	<b>9,833,042,785口</b>
1万口当り基準価額 (C/D)	10,415円	10,763円	11,322円

\* 当作成期首における元本額は9,086,821,850円、当作成期間（第26期～第28期）中における追加設定元本額は1,016,055,473円、同解約元本額は269,834,538円です。

\* 第28期末の計算口数当りの純資産額は11,322円です。

## ■損益の状況

第26期 自2023年3月18日 至2023年5月17日 第27期 自2023年5月18日 至2023年7月18日 第28期 自2023年7月19日 至2023年9月19日

項 目	第26期	第27期	第28期
(A) 配当等収益	98,553,401円	100,626,434円	103,880,748円
受取配当金	98,558,604	100,636,670	103,894,607
受取利息	7	6	10
支払利息	△ 5,210	△ 10,242	△ 13,869
(B) 有価証券売買損益	241,467,021	311,360,577	526,451,863
売買益	242,312,752	317,035,270	529,799,012
売買損	△ 845,731	△ 5,674,693	△ 3,347,149
(C) 信託報酬等	△ 17,926,972	△ 19,615,063	△ 21,051,650
(D) 当期損益金 (A + B + C)	322,093,450	392,371,948	609,280,961
(E) 前期繰越損益金	△ 216,615,202	30,652,590	344,178,943
(F) 追加信託差損益金	355,361,413	373,782,147	424,823,102
(配当等相当額)	( 807,465,528)	( 841,888,874)	( 916,614,262)
(売買損益相当額)	(△ 452,104,115)	(△ 468,106,727)	(△ 491,791,160)
(G) 合計 (D + E + F)	460,839,661	796,806,685	1,378,283,006
(H) 収益分配金	△ 74,475,220	△ 75,627,356	△ 78,664,342
次期繰越損益金 (G + H)	386,364,441	721,179,329	1,299,618,664
追加信託差損益金	355,361,413	373,782,147	424,823,102
(配当等相当額)	( 807,465,528)	( 841,888,874)	( 916,614,262)
(売買損益相当額)	(△ 452,104,115)	(△ 468,106,727)	(△ 491,791,160)
分配準備積立金	788,347,801	799,645,901	874,795,562
繰越損益金	△ 757,344,773	△ 452,248,719	—

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第26期	第27期	第28期
(a) 経費控除後の配当等収益	93,358,137円	95,836,373円	100,411,366円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	60,810,444
(c) 収益調整金	807,465,528	841,888,874	916,614,262
(d) 分配準備積立金	769,464,884	779,436,884	792,238,094
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,670,288,549	1,717,162,131	1,870,074,166
(f) 分配金	74,475,220	75,627,356	78,664,342
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,595,813,329	1,641,534,775	1,791,409,824
(h) 受益権総口数	9,309,402,559口	9,453,419,577口	9,833,042,785口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ			
1万口当り分配金（税込み）	第26期	第27期	第28期
	80円	80円	80円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

## 為替ヘッジあり／資産成長型

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	債券組入比率	信託証券比率	純資産総額
	(分配落)	税金込	騰落率				
6期末 (2021年9月17日)	円 11,432	円 0	% 4.1	% —	% 99.3	百万円 1,001	
7期末 (2022年3月17日)	10,604	0	△ 7.2	—	99.0	907	
8期末 (2022年9月20日)	9,703	0	△ 8.5	—	99.3	775	
9期末 (2023年3月17日)	9,383	0	△ 3.3	—	98.8	758	
10期末 (2023年9月19日)	9,354	0	△ 0.3	—	99.1	692	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

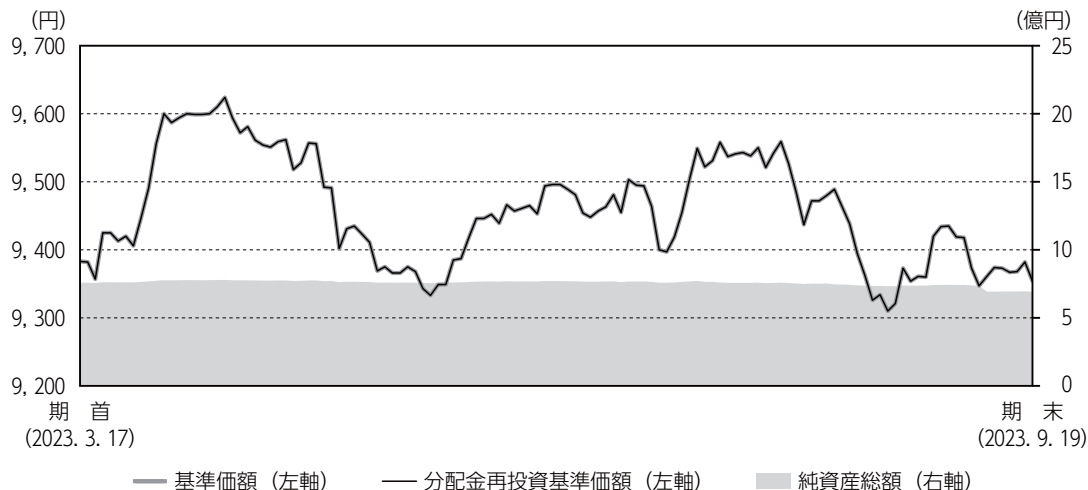
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：9,383円

期末：9,354円（分配金0円）

騰落率：△0.3%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有しているハイイールド債券や株式などの上昇はプラス要因となりま

したが、米国金融当局が大幅な利上げを実施したことによる為替ヘッジコストの上昇が重しとなり、基準価額は小幅に下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブルユー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2023年 3月17日	9,383	—		—			98.8
3 月末	9,491	1.2		—			98.7
4 月末	9,528	1.5		—			99.3
5 月末	9,385	0.0		—			99.4
6 月末	9,455	0.8		—			99.2
7 月末	9,542	1.7		—			99.1
8 月末	9,434	0.5		—			99.2
(期 末) 2023年 9月19日	9,354	△ 0.3		—			99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 3. 18 ～ 2023. 9. 19）

## ■海外金融市況

海外金融市場では、国債金利が上昇（債券価格は下落）したものの、投資適格社債は横ばい、ハイイールド債券や株式は堅調に推移しました。

海外株式市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやFRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感され、月末にかけて上昇しました。当作成期末にかけては、米国の利上げ停止への期待が高まった一方、全米自動車労働組合のストライキ入りなど強弱材料が入り混じり、一進一退で推移しました。

海外債券市場は、当作成期首より、強弱入り混じる経済指標の結果などから方向感のない展開となりましたが、2023年5月に入ると、経済指標の上振れや過度な信用不安の後退などを背景に、早期の金融引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇しました。6月は、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。7月も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、金利は上昇しました。当作成期末にかけては、底堅い経済指標を背景に利上げの継続スタンスが意識されたことに加え、財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社による米国国債の格下げが嫌気され、長期金利主導で上昇しました。

## ■前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。



## ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

## ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 3. 18 ~ 2023. 9. 19)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年3月18日 ～2023年9月19日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,714

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 3. 18~2023. 9. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	54円	0.573%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,459円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.168)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.391)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	55	0.577	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

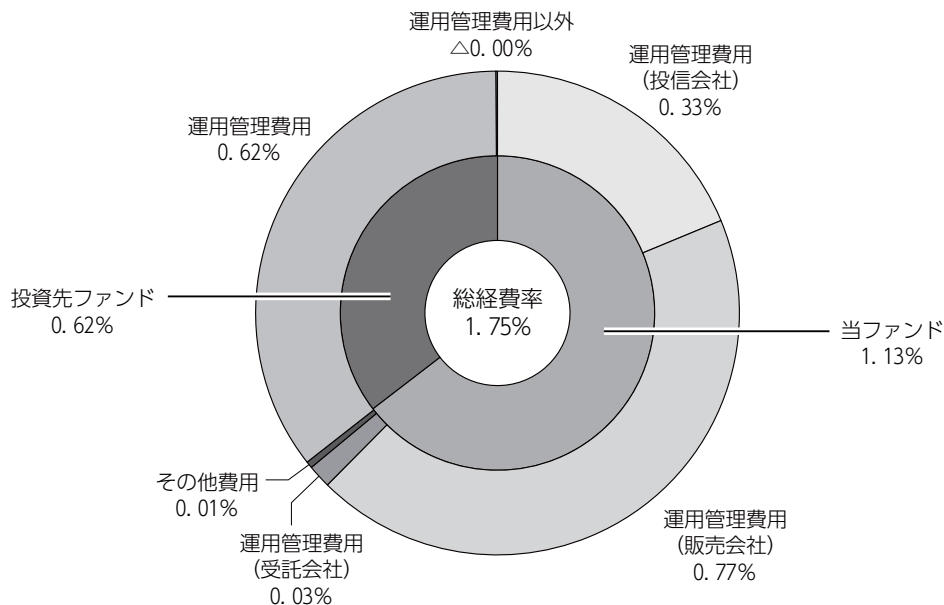
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.75%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.75%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

## NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

### ■売買および取引の状況

#### 投資信託受益証券

（2023年3月18日から2023年9月19日まで）

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 （邦貨建）	千口 229.826978	千円 18,731	千口 869.326622	千円 70,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 投資信託受益証券

（2023年3月18日から2023年9月19日まで）

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 60.631783	千円 5,000	円 82	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 869.326622	千円 70,000	円 80

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 8,599.491171	千円 686,290	% 99.1

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 95	千口 95	千円 96

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	686,290	98.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	0.0
コール・ローン等、その他	10,742	1.6
投資信託財産総額	697,130	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年9月19日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>697,130,448円</b>
コール・ローン等	10,742,647
投資信託受益証券（評価額）	686,290,992
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	96,809
<b>(B) 負債</b>	<b>4,378,839</b>
未払解約金	9,576
未払信託報酬	4,337,615
その他未払費用	31,648
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>692,751,609</b>
元本	740,586,799
次期繰越損益金	△ 47,835,190
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>740,586,799口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	9,354円

\* 期首における元本額は808,183,976円、当作成期間中における追加設定元本額は14,106,419円、同解約元本額は81,703,596円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,354円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は47,835,190円です。

■損益の状況

当期 自2023年3月18日 至2023年9月19日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>13,050,744円</b>
受取配当金	13,052,943
支払利息	△ 2,199
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>10,920,298</b>
売買益	745,567
売買損	△ 11,665,865
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>4,369,263</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>2,238,817</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>83,606,961</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>38,010,588</b>
（配当等相当額）	（ 45,123,854）
（売買損益相当額）	（△ 7,113,266）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>47,835,190</b>
<b>次期繰越損益金（G）</b>	<b>47,835,190</b>
追加信託差損益金	38,010,588
（配当等相当額）	（ 45,123,854）
（売買損益相当額）	（△ 7,113,266）
分配準備積立金	81,881,310
繰越損益金	△ 167,727,088

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,681,481円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	45,123,854
(d) 分配準備積立金	73,199,829
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	127,005,164
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	127,005,164
(h) 受益権総口数	740,586,799口

為替ヘッジなし／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託組入率	純資産額
	(分配落)	税金込	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
6期末（2021年9月17日）	11,747	0	5.0	—	99.1	1,411
7期末（2022年3月17日）	11,801	0	0.5	—	99.1	1,765
8期末（2022年9月20日）	13,151	0	11.4	—	99.2	2,282
9期末（2023年3月17日）	12,140	0	△ 7.7	—	99.0	2,253
10期末（2023年9月19日）	13,859	0	14.2	—	99.3	2,687

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。

（注2）公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

（注3）公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

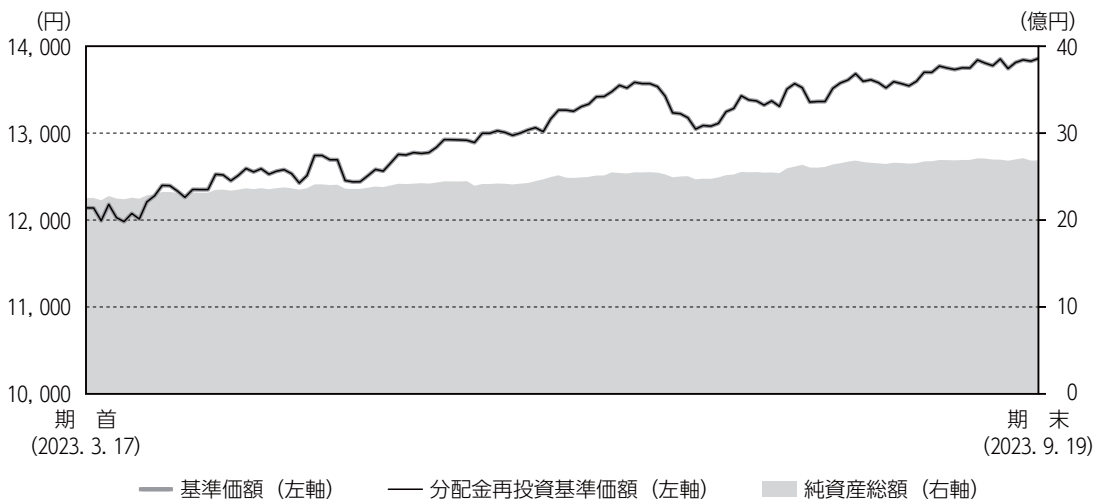
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：12,140円

期末：13,859円（分配金0円）

騰落率：14.2%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有しているハイイールド債券や株式などが上昇したことに加え、円安

米ドル高が進んだことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2023年 3月17日	12,140	—		—			99.0
3 月 末	12,279	1.1		—			99.2
4 月 末	12,513	3.1		—			98.9
5 月 末	12,921	6.4		—			99.2
6 月 末	13,519	11.4		—			99.2
7 月 末	13,309	9.6		—			99.1
8 月 末	13,750	13.3		—			99.3
(期 末) 2023年 9月19日	13,859	14.2		—			99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023. 3. 18 ～ 2023. 9. 19）

## ■ 海外金融市況

海外金融市場では、国債金利が上昇（債券価格は下落）したものの、投資適格社債は横ばい、ハイイールド債券や株式は堅調に推移しました。

海外株式市場は、当作成期首より、米国地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬以降は、AI（人工知能）関連で使用される半導体メーカーの強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感されて大幅に上昇しました。8月は、長期金利が上昇したことやFRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言への警戒感が高まったことなどから中旬にかけて下落しましたが、雇用の減速を示す統計の発表を受けて長期金利が低下したことが好感され、月末にかけて上昇しました。当作成期末にかけては、米国の利上げ停止への期待が高まった一方、全米自動車労働組合のストライキ入りなど強弱材料が入り混じり、一進一退で推移しました。

海外債券市場は、当作成期首より、強弱入り混じる経済指標の結果などから方向感のない展開となりましたが、2023年5月に入ると、経済指標の上振れや過度な信用不安の後退などを背景に、早期の金融引き締め終了期待がはく落したことから、金利は上昇しました。6月は、FRBが政策金利の据え置きを発表したものの今後の政策金利見通しを引き上げたことなどから、金利上昇が継続しました。7月も、米国を中心に景気の先行き不透明感が後退して期待インフレ率が上昇したことを受け、金利は上昇しました。当作成期末にかけては、底堅い経済指標を背景に利上げの継続スタンスが意識されたことに加え、財政赤字の拡大などによる国債の増発や格付会社による米国国債の格下げが嫌気され、長期金利主導で上昇しました。

## ■ 為替相場

米ドル円為替相場は上昇（円安）しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、米国金利に連れる格好でレンジでの推移となりましたが、2023年4月末にかけては、次回のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利上げが意識される展開となり、小幅に上昇しました。その後は、経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、米ドルは対円で上昇基調を強めました。6月に入ると、FRB（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受けて、米ドルは対円で下落（円高）しまし

た。その後当作成期末にかけては、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識されたことなどから、米ドルは対円で上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023. 3. 18 ~ 2023. 9. 19)

### ■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年3月18日 ～2023年9月19日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4,029

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。当ファンドでは、投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながらも、景気回復局面において優位なパフォーマンスが期待される転換社債や株式などリスク資産の組入比率を高めることを検討してまいります。

### ■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 3. 18～2023. 9. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	75円	0.573%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,061円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0.168)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(51)	(0.391)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	75	0.577	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

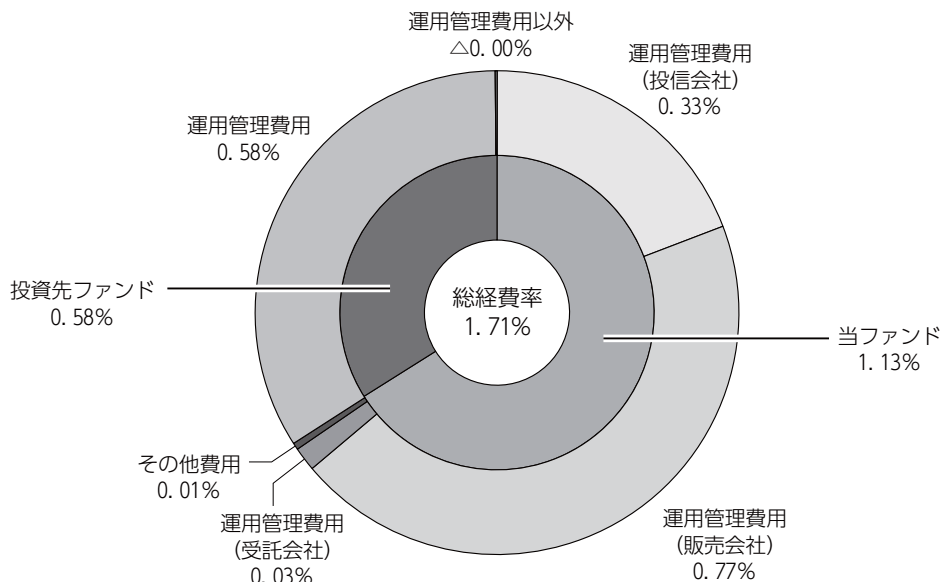
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.71%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.71%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	△0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注9) 投資先ファンドの運用管理費用以外は、当初積み立てた見積費用よりも実際の費用がかからなかったことから、マイナスの費用（収入）となっています。

## NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

### ■売買および取引の状況

#### 投資信託受益証券

（2023年3月18日から2023年9月19日まで）

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 （邦貨建）	千口 3,002.900357	千円 299,174	千口 1,290.091685	千円 130,000

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 投資信託受益証券

（2023年3月18日から2023年9月19日まで）

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 2,257.131517	千円 225,000	円 99	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS (ケイマン諸島)	千口 1,290.091685	千円 130,000	円 100

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 25,607.696977	千円 2,668,270	% 99.3

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期	末
	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 337	千口 337	千円 343

（注）単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2023年9月19日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,668,270	97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	343	0.0
コール・ローン等、その他	62,382	2.3
投資信託財産総額	2,730,996	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年9月19日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,730,996,526円</b>
コール・ローン等	62,382,393
投資信託受益証券（評価額）	2,668,270,809
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	343,324
<b>(B) 負債</b>	<b>43,986,972</b>
未払解約金	29,675,898
未払信託報酬	14,207,221
その他未払費用	103,853
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>2,687,009,554</b>
元本	1,938,884,303
次期繰越損益金	748,125,251
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,938,884,303口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	13,859円

\* 期首における元本額は1,856,476,173円、当作成期間中における追加設定元本額は278,448,355円、同解約元本額は196,040,225円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,859円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年3月18日 至2023年9月19日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>70,812,247円</b>
受取配当金	70,821,757
受取利息	2
支払利息	△ 9,512
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>249,362,745</b>
売買益	266,556,154
売買損	△ 17,193,409
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 14,311,074</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>305,863,918</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>108,624,637</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>333,636,696</b>
（配当等相当額）	（ 366,864,210）
（売買損益相当額）	（△ 33,227,514）
<b>(G) 合計（D＋E＋F）</b>	<b>748,125,251</b>
<b>次期繰越損益金（G）</b>	<b>748,125,251</b>
追加信託差損益金	333,636,696
（配当等相当額）	（ 366,864,210）
（売買損益相当額）	（△ 33,227,514）
分配準備積立金	414,488,555

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	67,646,637円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	28,269,571
(c) 収益調整金	366,864,210
(d) 分配準備積立金	318,572,347
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	781,352,765
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	781,352,765
(h) 受益権総口数	1,938,884,303口

**フレキシブル・インカム・ファンド**  
**(円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス)**

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

**財政状態計算書**  
2022年12月31日

US\$

**資産**

現金および現金同等物	70,759,083
ブローカーからの預託貸越	87,139
金融資産（損益通算後の評価額）	2,753,247,487
発行済み受益証券の未収金	28,163,250
受取勘定	39,897,930

**資産合計**


---

**2,892,154,889**
**負債**

金融負債（損益通算後の評価額）	24,361
償還済み受益証券の未払金	2,500,000
購入済み投資の未払金	19,237,660
未払手数料	1,657,560

**負債合計（償還可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）**


---

**23,419,581**
**償還可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産**


---

**2,868,735,308**

## 包括利益計算書

2022年12月31日に終了した年度

US\$

**投資損益**

金融資産（損益通算後の評価額）からの配当収益	28,563,375
現金および現金同等物からの受取利息	1,058,640
債券（損益通算後の評価額）からの受取利息	103,658,827
外国為替純損益	500,737
金融資産および負債（損益通算後の評価額）による純損益	(489,526,641)

**投資損益合計****(355,745,062)****費用**

受託会社報酬	261,652
運用会社報酬	12,801,529
管理会社報酬	1,046,606
保管会社報酬	745,503
為替運用会社報酬	197,692
為替計算代理人報酬	20,422
監査報酬	54,644
逆イールド費用	3,848
その他の報酬・費用	(99,976)

**営業費用合計****15,031,920****金融費用控除前営業損益****(370,776,982)****金融費用**

分配金	(122,983,384)
-----	---------------

**金融費用合計****(122,983,384)****税引前の償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増減****(493,760,366)**

## 源泉徴収税

(12,222,193)

**税引後の償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の増減****(505,982,559)**

## 投資明細表

2022年12月31日

銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US \$)	純資産に 占める 割合(%)
<b>ハイ・イールド社債</b>					
<b>カナダ</b>					
ALGONQUIN POWER AQNCN 4 3/4 01/18/2082	6,076,653	0.21	NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	30,303,352	1.06
ALGONQUIN POWER AQNCN 6.2 07/01/2079	9,644,550	0.34	PERFORMANCE FOOD PFGC 5 1/2 10/15/27	9,682,111	0.34
AUTOMATION TOOLI ATSCN 4 1/8 12/15/28	11,248,359	0.39	ROLLER BEARING RBC 4 3/8 10/15/29	19,147,940	0.67
EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/2076	44,979,484	1.58	SEAGATE HDD CAYM STX 4 7/8 06/01/27	12,217,473	0.43
<b>イタリア</b>					
INTL GAME TECH IGT 5 1/4 01/15/29	13,526,295	0.47	SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	8,168,568	0.29
<b>米国</b>					
ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	28,852,423	1.01	SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	26,759,154	0.94
AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	28,978,051	1.02	SEG HLD/SEG FIN SEGHLD 5 5/8 10/15/28	12,581,884	0.44
ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	13,478,125	0.47	SIRIUS XM RADIO SIRI 4 07/15/28	13,842,195	0.49
AVANTOR FUNDING AVTR 4 5/8 07/15/28	14,916,661	0.52	SS&C TECH INC SSNC 5 1/2 09/30/27	13,943,394	0.49
BATH & BODY WORKS INC 6.875 11/01/2035	28,276,316	0.99	STEVENS HOLDING AIMC 6 1/8 10/01/26	10,353,189	0.36
CCO HOLDINGS LLC CHTR 5 1/8 05/01/27	24,526,449	0.86	TENET HEALTHCARE THC 4 1/4 06/01/29	20,041,152	0.70
CNF INC CNW 6.7 05/01/34	11,661,238	0.41	TENET HEALTHCARE THC 6 1/8 10/01/28	5,873,580	0.21
DANA FIN LUX SAR DAN 5 3/4 04/15/25	10,300,534	0.36	TR OP / TR FIN TSE 5 3/8 09/01/25	27,834,694	0.98
DANA INC DAN 4 1/4 09/01/30	10,821,184	0.38	TRIPADVISOR INC TRIP 7 07/15/25	31,379,716	1.10
DISH DBS CORP DISH 5 1/8 06/01/29	3,985,575	0.14	UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	26,615,015	0.93
DISH DBS CORP DISH 7 3/4 07/01/26	7,141,433	0.25	VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	27,525,770	0.97
DISH DBS CORP DISH 7 3/8 07/01/28	2,958,891	0.10	VISTRA OPERATION VST 5 07/31/27	19,500,446	0.68
ENCOMPASS HLTH EHC 4 3/4 02/01/30	5,337,318	0.19	WESCO DISTRIBUT WCC 7 1/4 06/15/28	6,743,732	0.24
ENVIVA PRTNRS EVA 6 1/2 01/15/26	18,941,981	0.66	<b>転換社債</b>		
FIRST CITIZENS FCNCA Float PERP	9,856,392	0.35	<b>米国</b>		
FORD MOTOR CO F 5.291 12/08/46	17,539,028	0.62	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	13,982,640	0.49
FORD MOTOR CRED F 7.35 11/04/27	16,716,124	0.59	JPMORGANCHASEFIN JPM 0 06/21/23	14,383,888	0.50
GAP INC/THE GPS 3 5/8 10/01/29	14,357,124	0.50	LIBERTY MEDIA LINTA 3 3/4 02/15/30	3,028,125	0.11
GAP INC/THE GPS 3 7/8 10/01/31	10,308,934	0.36	LIBERTY MEDIA LINTA 4 11/15/29	7,473,942	0.26
GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	17,534,333	0.62	MER LYNCH INT CV BAC 0.16 06/21/23	12,270,144	0.43
GOODYEAR TIRE GT 5 1/4 07/15/31	34,827,044	1.22	NEXTERA ENERGY NEE 6.219 09/01/23	20,642,837	0.72
GREYSTAR REAL ES GRSTAR 5 3/4 12/01/25	10,638,484	0.37	WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	22,419,015	0.79
HORIZON PHARMA HZNP 5 1/2 08/01/27	15,636,308	0.55	<b>投資適格社債</b>		
IRON MOUNTAIN IRM 4 7/8 09/15/29	13,586,443	0.48	<b>ベルギー</b>		
LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/2 07/15/29	6,138,885	0.22	ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	15,964,023	0.56
LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/4 02/01/30	2,040,204	0.07	ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4.9 02/01/46	12,478,429	0.44
NCR CORP NCR 5 1/4 10/01/30	18,934,082	0.66	<b>カナダ</b>		
NCR CORP NCR 5 1/8 04/15/29	9,699,783	0.34	TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 08/15/2076	14,008,071	0.49
NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	2,422,344	0.09	<b>フランス</b>		
			ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	9,446,743	0.33
			<b>ドイツ</b>		
			BAYER US FIN II BAYNGR Float 12/15/23	8,852,765	0.31
			<b>ルクセンブルク</b>		
			ARCELORMITTAL SA MTNA 6.8 11/29/32	9,428,670	0.33

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
<b>ペルー</b>					
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	10, 801, 068	0. 38	RAYMOND JAMES RJF 4. 95 07/15/46	8, 206, 636	0. 29
<b>英国</b>			SPRINT CORP S 7 1/8 06/15/24	10, 227, 067	0. 36
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 4 05/01/28	18, 459, 653	0. 65	T-MOBILE USA INC TMUS 4 3/4 02/01/28	18, 006, 242	0. 63
ASHTREAD CAPITAL AHTLN 5 1/2 08/11/32	13, 518, 888	0. 47	T-MOBILE USA INC TMUS 5 3/8 04/15/27	4, 543, 033	0. 16
<b>米国</b>			TRANSCANADA TRST TRPCN 5. 6 03/07/2082	15, 774, 655	0. 55
ALEXANDRIA REAL ARE 4. 7 07/01/30	11, 856, 992	0. 42	VIACOM INC PARA 6 7/8 04/30/36	42, 060, 477	1. 48
ALLY FINANCIAL ALLY 5 3/4 11/20/25	14, 663, 582	0. 51	VMWARE INC VMW 4. 7 05/15/30	12, 194, 274	0. 43
ALTRIA GROUP INC MO 5. 8 02/14/39	17, 182, 392	0. 60	WARNERMEDIA HLDG WBD 3. 428 03/15/24	17, 286, 709	0. 61
ARES FIN III LLC ARES 4 1/8 06/30/51	10, 570, 572	0. 37	WARNERMEDIA HLDG WBD 5. 141 03/15/52	14, 804, 971	0. 52
AT&T INC T Float 06/12/24	25, 723, 451	0. 90	<b>普通株式</b>		
BROADCOM INC AVGO 3. 187 11/15/36	13, 869, 314	0. 49	<b>オーストラリア</b>		
BROADCOM INC AVGO 4 3/4 04/15/29	13, 235, 033	0. 46	BHP GROUP LTD-SPON ADR	15, 450, 450	0. 54
CELANESE US HLD S CE 6. 165 07/15/27	19, 689, 544	0. 69	<b>フランス</b>		
CENTENE CORP CNC 4 5/8 12/15/29	20, 355, 686	0. 71	SANOFI-ADR	14, 785, 679	0. 52
CHARTER COMM OPT CHTR 6. 484 10/23/45	26, 099, 888	0. 92	<b>英国</b>		
CHARTER COMM OPT CHTR Float 02/01/24	12, 448, 998	0. 44	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	16, 461, 840	0. 58
CHENIERE CORP CH CHCOCH 5 1/8 06/30/27	19, 217, 980	0. 67	SHELL PLC-ADR	21, 680, 865	0. 76
CVS HEALTH CORP CVS 4. 3 03/25/28	12, 209, 399	0. 43	<b>米国</b>		
CVS HEALTH CORP CVS 4. 78 03/25/38	17, 596, 118	0. 62	APPLIED MATERIALS INC	13, 808, 484	0. 48
DELL INT / EMC DELL 6. 02 06/15/26	13, 598, 543	0. 48	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	7, 900, 110	0. 28
DELL INT / EMC DELL 6. 2 07/15/30	4, 520, 541	0. 16	BROADCOM INC	18, 555, 847	0. 65
DOMINION ENERGY D Float 09/15/23	12, 846, 424	0. 45	CARRIER GLOBAL CORP	13, 835, 250	0. 49
EDISON INTL EIX 5 3/4 06/15/27	7, 492, 092	0. 26	CIGNA CORP	17, 527, 886	0. 62
ENSTAR FINANCE ESGR 5 1/2 01/15/42	7, 937, 267	0. 28	CISCO SYSTEMS INC	20, 146, 956	0. 71
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	8, 875, 087	0. 31	CONOCOPHILLIPS	13, 652, 600	0. 48
GENERAL MOTORS C GM 6. 6 04/01/36	38, 898, 741	1. 37	DIAMONDBACK ENERGY INC	13, 171, 914	0. 46
GLP CAP/FIN II GLPI 5 1/4 06/01/25	9, 715, 913	0. 34	DUPONT DE NEMOURS INC	13, 753, 452	0. 48
GLP CAP/FIN II GLPI 5 3/8 04/15/26	8, 311, 470	0. 29	FREEMPORT-MCMORAN INC	7, 140, 200	0. 25
GMAC LLC ALLY 8 11/01/31	13, 410, 841	0. 47	GENERAL DYNAMICS CORP	14, 315, 947	0. 50
HAT HOLDINGS I HASI 6 04/15/25	17, 877, 753	0. 63	HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	15, 165, 192	0. 53
HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	17, 761, 820	0. 62	HUMANA INC	20, 180, 286	0. 71
HP ENTERPRISE HPE 6. 35 10/15/45	66, 000, 010	2. 32	MCDONALD'S CORP	15, 258, 387	0. 54
LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7. 8 03/15/37	3, 852, 006	0. 14	MEDTRONIC PLC	7, 041, 432	0. 25
MARRIOTT INTL MAR 4 5/8 06/15/30	16, 575, 879	0. 58	MICROSOFT CORP	15, 492, 372	0. 54
MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 12/09/45	24, 798, 729	0. 87	NEXTERA ENERGY PARTNERS L	13, 565, 219	0. 48
MORGAN STANLEY MS 6. 138 10/16/26	20, 107, 052	0. 71	NVENT ELECTRIC PLC	14, 486, 532	0. 51
NEXTERA ENERGY NEE 5. 65 05/01/2079	27, 473, 577	0. 96	PIONEER NATURAL RESOURCES	7, 422, 675	0. 26
NORDSTROM INC JWN 5 01/15/44	15, 555, 806	0. 55	PUBLIC SERVICE ENTERPRISE	14, 049, 211	0. 49
ORACLE CORP ORCL 4. 3 07/08/34	14, 586, 245	0. 51	PUBLIC STORAGE	21, 938, 877	0. 77
PARAMOUNT GLOB PARA 6 3/8 03/30/62	12, 002, 467	0. 42	RAYTHEON TECHNOLOGIES COR	14, 693, 952	0. 52
PHILLIPS 66 PSX 4. 65 11/15/34	23, 997, 066	0. 84	SEALED AIR CORP	7, 033, 080	0. 25
			SEMPRA ENERGY	20, 531, 721	0. 72

# NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
VALERO ENERGY CORP	15,984,360	0.56	PNC FINANCIAL PNC Float PERP	10,165,898	0.36
WALMART INC	24,189,374	0.85	REINSURANCE GRP RGA 7 1/8 10/15/52	18,783,259	0.66
WELLS FARGO & CO	7,675,811	0.27	SEMPRA ENERGY SRE 4 7/8 PERP	13,350,460	0.47
<b>優先証券</b>			SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	5,426,260	0.19
<b>米国</b>			VISTRA CORP VST 7 PERP	8,673,921	0.30
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	21,747,776	0.76	VISTRA CORP VST 8 PERP	32,682,010	1.15
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	7,836,808	0.28	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	22,835,622	0.80
AMERICAN EXPRESS AXP 3.55 PERP	10,864,627	0.38	WESTERN ALLIANCE WAL 4 1/4 PERP	12,022,880	0.42
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	11,946,635	0.42	ZIONS BANCORP ZION 7.2 PERP	765,900	0.03
ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	4,943,002	0.17			
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 PERP	7,419,669	0.26			
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/4 PERP	14,757,502	0.52			
BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	9,985,407	0.35			
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	11,916,285	0.42			
CAPITAL ONE FINL COF 3.95 PERP	7,078,334	0.25			
CAPITAL ONE FINL COF 5 PERP	5,306,400	0.19			
CHARLES SCHWAB SCHW 5 3/8 PERP	24,691,666	0.87			
CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	8,775,323	0.31			
CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	6,795,404	0.24			
CHS INC CHSINC 7.1 PERP	8,184,101	0.29			
CITIGROUP INC C 4 PERP	15,765,833	0.55			
CITIGROUP INC C 5.95 PERP	5,131,911	0.18			
CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	17,422,971	0.61			
CITIGROUP INC C 7 1/8 PERP	15,111,775	0.53			
DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	9,260,563	0.33			
DOMINION ENERGY D 4.35 PERP	12,131,332	0.43			
EDISON INTL EIX 5 PERP	18,927,448	0.66			
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	5,050,849	0.18			
GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	9,845,550	0.35			
GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	5,165,494	0.18			
GOLDMAN SACHS GP GS 4.95 PERP	1,951,682	0.07			
GOLDMAN SACHS GP GS 5 1/2 PERP	9,767,513	0.34			
GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 PERP	5,978,103	0.21			
JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 PERP	39,910,486	1.40			
JPMORGAN CHASE JPM 6.1 PERP	7,932,873	0.28			
KEYCORP KEY 6.2 PERP	16,332,678	0.57			
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1,501,889	0.05			
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	746,394	0.03			
M&T BANK CORP MTB 5 1/8 PERP	2,069,229	0.07			
MORGAN STANLEY MS 5 7/8 PERP	1,793,585	0.06			
MORGAN STANLEY MS 6 1/2 PERP	4,512,175	0.16			
MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	1,961,005	0.07			
MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	13,239,840	0.46			
NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	4,951,588	0.17			
PNC FINANCIAL PNC 6.2 PERP	16,513,094	0.58			



<補足情報>

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2023年9月19日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2023年3月18日～2023年9月19日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2023年9月19日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネー・マザーファンド

## 運用報告書 第18期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

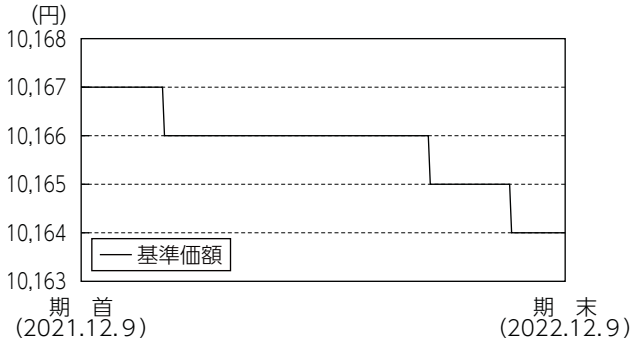
運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2021年12月9日	10,167	-	-
12月末	10,167	0.0	-
2022年1月末	10,167	0.0	-
2月末	10,166	△0.0	-
3月末	10,166	△0.0	-
4月末	10,166	△0.0	-
5月末	10,166	△0.0	-
6月末	10,166	△0.0	-
7月末	10,166	△0.0	-
8月末	10,165	△0.0	-
9月末	10,165	△0.0	-
10月末	10,164	△0.0	-
11月末	10,164	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,164	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,167円 期末：10,164円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	14,815,299	100.0
投資信託財産総額	14,815,299	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項目	当	期	末
<b>(A) 資産</b>	<b>14,815,299,248円</b>		
コール・ローン等	14,815,299,248		
<b>(B) 負債</b>	<b>113,000</b>		
未払解約金	113,000		
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>14,815,186,248</b>		
元本	14,576,480,402		
次期繰越損益金	238,705,846		
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>14,576,480,402口</b>		
<b>1万口当り基準価額(C / D)</b>	<b>10,164円</b>		

\* 期首における元本額は6,671,046,264円、当作成期間中における追加設定元本額は21,845,860,602円、同解約元本額は13,940,426,464円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	3,627,565,740円
ダイワ・グローバルIT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジあり)	977,694円
ダイワ・グローバルIT関連株ファンド -A1新時代- (為替ヘッジなし)	977,694円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュー (為替ヘッジなし)	9,608円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり)	49,107円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし)	49,107円
ダイワ / "R I C I" コモディティ・ファンド	2,074,249円
スマート・ミックス・Dガード (為替ヘッジあり)	5,973,809円
スマート・アロケーション・Dガード	23,929,224円
堅実バランスファンド -ハジメの一步-	236,205,446円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	180,729円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	737,649円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	95,276円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	337,885円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/毎月分配型)	983円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/毎月分配型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	5,509,329,948円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	595,238,099円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	309,917,358円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	4,031,730,013円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	132,757円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	52,987円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	467,315円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	12,784円
ダイワ/フィデリティ北米株式ファンド -パライダムシフト-	1,988,495円
ダイワFEGグローバル・バリュー株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	155,317円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	38,024円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 米ドル・コース (毎月分配型)	4,380円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 豪ドル・コース (毎月分配型)	22,592円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (資産成長コース)	33,689円
ダイワ新興国ソブリン債券ファンド (通貨αコース)	96,254円
ダイワ・ダブルバランス・ファンド (Dガード付/部分為替ヘッジあり)	104,785,071円
ダイワ6資産バランス・ファンド (Dガード付/為替ヘッジあり)	112,805,921円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジあり)	5,385円
ダイワ・インフラビジネス・ファンド -インフラ革命- (為替ヘッジなし)	11,530円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 米ドルコース	9,817円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 日本円コース	6,964円
ダイワ米国MLPファンド (毎月分配型) 通貨αコース	9,479円
ダイワ英国高配当株ツインα (毎月分配型)	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド	98,107円
ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ	982,368円
DCスマート・アロケーション・Dガード	8,073,994円

ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 南アフリカ・ランド・コース (毎月分配型)	1,097円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) トルコ・リラ・コース (毎月分配型)	2,690円
ダイワ米国高金利社債ファンド (通貨選択型) 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,350円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 通貨αコース	98,203円
ダイワ・オーストラリア高配当株α (毎月分配型) 株式&通貨ツインαコース	982,029円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) -トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	9,652円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,164円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項目	当	期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△</b>	<b>3,985,061円</b>
受取利息		2,618
支払利息	△	3,987,679
<b>(B) 当期損益金(A)</b>	<b>△</b>	<b>3,985,061</b>
<b>(C) 前期繰越損益金</b>		<b>111,255,021</b>
<b>(D) 解約差損益金</b>	<b>△</b>	<b>230,350,932</b>
<b>(E) 追加信託差損益金</b>		<b>361,786,818</b>
<b>(F) 合計(B + C + D + E)</b>		<b>238,705,846</b>
<b>次期繰越損益金(F)</b>		<b>238,705,846</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。